

# 組合学校創立 80 周年記念特集について

2021 年 10 月 1 日  
全国漁業協同組合学校

組合学校は、2021 年 10 月 1 日、創立 80 周年を迎えます。10 年前の 70 周年には、50 周年史以降の 20 年間の記録を「70 周年史」としてまとめ、関係者に届けました。

今回の 80 周年は、現下のコロナ禍の困難な状況の中で、特別の行事や記念史の発行はできませんが、「協同組合精神を明日につなぐ」をテーマに、ホームページ上で特集を組み、今年度末(2022年3月)までの半年間に亘って、在校生、卒業生、講師、漁協系統団体、学校関係者の方々の声・投稿・記事を、また、併せて、必要最小限の10年間の学校の記録を掲載することと致しました。

関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 掲載予定

10 月 1 日の第 1 回目の掲載以降、10 月から来年 3 月の月末を目途に、6 回に亘り、順次掲載していきます。

### 《 主な内容 》

- ・在校生、卒業生、漁協等からの寄稿
- ・関係団体からの激励等
- ・組合学校・(財)漁村教育会の 10 年間の主な出来事
- ・その他

# 「明日につなぐ」について

## ～ 特集への組合学校の思い ～

全国の浜々から“漁村の発展”を胸に、80年間絶えることなく学生が入学している組合学校は、1941年(昭和16年)10月1日に全漁連附属の漁業組合学校として誕生しました。後に、(財)漁村教育会が運営する全国漁業協同組合学校と名称を改めて今日に至りますが、組合職員としての実務能力を兼ね備えた漁村指導者の養成を目指すという設立以来の伝統を踏まえて、近年、「協同組合精神を持った漁協職員の養成」と掲げ力を注いできました。知識だけでなく、こうした精神力を養うこともできる、他に類を見ない特徴ある全国唯一の、漁業協同組合のための学校です。

創立以来、80年の歴史の中で、2,667名の卒業生たちは、全国それぞれの浜で、漁業者の生活を支えるプロフェッショナルとして、「昨日より今日、今日より明日」と歩みを止めることなく、漁村の発展を目指し走り続けてきました。そして今もなお、その思いを胸に走り続けています。

その原動力の根源には「協同組合精神」があります。これは一年間の寮生活で揉まれながら、学んで得た経験や絆を基に培われたものであり、卒業後も自身の地域だけではなく全国各地で活躍している卒業生たちと手を取り合い、困難を乗り越えることに繋がっています。

こうした漁協職員として活躍する卒業生が、日々奮闘している姿を80周年記念特

集でつづり、この特集を機により多くの人たちに知っていただきたいと思います。また、卒業生から在校生へ、親から子・孫へ、講師から講師へ等の移りゆく姿を伝えると同時に、世代を超えても変わらずに、バトンを明日へとつなげてきたそれぞれの思いを形に残し、これまで歩んできた組合学校の歴史を全国の皆様へお届けいたします。

そして、多くの学生を指導いただいた講師の方々、学校を支えていただいた漁協系統団体、学校関係者の皆様が、組合学校の学生へ期待する思いを、時代を超えてもなお、受け継がれていることについて、組合学校として感謝の意を表したいと思います。

これらは、70周年以降の10年に重点をおきながら組合学校のホームページ上での掲載といたしますが、後日、まとめて、「記念特集」として活用することも想定しております。この特集が漁協職員をはじめ全国の関係の皆様への活力の一助となり、組合学校が90周年、100周年と未来へつなげていく橋渡しとなることを願っております。



## 協同組合精神を明日につなぐ(組合学校創立 80 周年にあたって)

全国漁業協同組合学校 校長 吉田 博身

今日、2021年10月1日、組合学校は、創立80周年を迎えました。

新型コロナウイルス禍のため、今、学生は、夏休み明け後も引き続き自宅にとどまりオンライン授業に励んでおり、間もなく帰寮し通常の学校生活に戻る予定です。

振り返りますと、10年前の70周年のときも、東日本大震災の年で、4月予定通りの授業開始ができない年でした。組合学校が1941年(昭和16年)10月1日の創立以来、幾多の時代を超えて、校舎・学寮も明石町(築地近く)、江古田(中野区)、柏(千葉県)と移りながら、80年に亘り、2,667名の学生が学び卒業していくことを積み重ねてきたことに改めて歴史の重みを感じます。



全国の漁協系統が自らの経営が厳しい中でも一貫して支え続け、また、心ある多くの講師の先生方が思いを注ぐことによって維持・運営されている組合学校が漁協職員を養成する全国唯一の学校として期待される役割を發揮し、浜の活力に貢献する人材を送り続けることの意味を在校生・卒業生、全国の漁協をはじめとする関係の皆様とともに、この機会に改めて噛みしめたいと思います。

70周年以降の10年間を見ますと、153名の学生が寮生活のもとに学び、全国の浜に巣立ち、今年度は14名の学生が学んでいます。この間、柏に移転してから45年経過し、随所に傷み、古くなっていた1975年竣工の現校舎・学寮の修繕を一通り終え、気持ちの良い勉強・生活環境が整いました。女子学生の入寮受入体制もできました。学生の構成も漁協現職者や漁村出身者に加え、海や釣りが好きといったことを契機に組合学校を知り、入学する学生も増えています。

こうした浜の期待に応えるべく、組合学校は、活力ある漁協づくりに地道に取り組む個性あふれる多様な人材、漁協の仕事への愛着と協同組合精神をもった人材を養成するという役割を引き続き果たして参りたいと思っております。

全国の漁協はじめ関係の皆様におかれましては、組合学校をこれまで以上に活用下さいますことと、引き続きご指導ご鞭撻ご支援を賜りますことを切にお願い申し上げます。